

43宇宙委第13号
昭和43年9月13日

殿

宇宙開発委員会委員長 鏑 島 直 紹

第9回宇宙開発委員会定例会議の開催について
標記会議を下記により開催しますので、ご出席下さい。

記

1. 日 時 昭和43年9月18日(水)
午後2時30分～4時
2. 場 所 科学技術庁 第2会議室
3. 議 題 (1) 日米技術協力について
(2) ドイツ科学研究^省ゲルハルト・ストルテンベ
ルク大臣との会見について
(3) その他

第9回宇宙開発委員会定例会議事次第

1. 第7回宇宙開発委員会定例会議事要旨の確認
2. 日米技術協力について
3. その他

配布資料

委9-1 第7回宇宙開発委員会定例会議事要旨

委9-2 ジョンソンメモ要旨

委9-3 宇宙開発に関する在日米大使の申入れに対する中間回答について

委9-4 宇宙開発に関する在日米大使の申入れに関して、日本側現状の向大使への通知依頼について

第7回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

1. 日 時 昭和43年9月4日(水)
13:00~15:00
2. 場 所 科学技術庁 第2会議室
3. 議事次第 (1) 第3回および第4回宇宙開発委員会臨時会議
議事要旨の確認
(2) 昭和43年度宇宙開発推進本部の業務の進捗
状況に関する報告
(3) その他
4. 出席者 委員長代理 山 泉 昌 夫
委 員 関 義 長
大 野 勝 三
吉 識 雅 夫

関係行政機関職員

科学技術庁研究調整局長 梅 沢 邦 臣

文部省大学学術局審議官(代理:大学学術局学術課
飯 田 益 雄)他

通商産業大臣官房審議官(代理:重工業局航空機武器課
伊 藤 健 一)他

運輸省大臣官房参事官(代理:官房技術調査官
清 水 正 義)

気象庁総務部長（代理：総務部総務課 山本正司）

海上保安庁総務部長（代理：水路部編曆課 山崎昭）

郵政省電波監理局審議官（代理：電波監理局技術調査課 中津川英雄）

郵政省電波監理局無線通信部長（代理：電波監理局技術調査課 植田政司）

建設大臣官房技術参事官（代理：大臣官房技術参事官室 松浦佐）

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長 山野正登

〃 〃 宇宙開発課長 園山重道 他

5. 配布資料

委7-1 第3回宇宙開発委員会臨時会議議事要旨

委7-2 第4回宇宙開発委員会臨時会議議事要旨

委7-3 昭和44年度における宇宙開発関係経費の見積り方針および概算要求概要について（案）

6. 議事要旨

(1) 第3回および第4回宇宙開発委員会臨時会議議事要旨の確認

「第3回宇宙開発委員会臨時会議議事要旨」および「第4回

宇宙開発委員会臨時会議議事要旨」が確認された。

(2) 昭和43年度宇宙開発推進本部の業務の進捗状況に関する報

告

イ 宇宙開発推進本部管理部長から、参考資料「昭和43年度予算の概要について」について、次のような補足説明があつた。

(イ) 種子島関係施設設備費として約9千4百万円だけ繰越されたが、これは早急に工事に着手する予定である。

(ロ) 昭和42年度の宇宙科学技術研究開発の委託先は次のとおりである。

(a) 液体ロケットの開発については三菱重工(株)および旭化成(株)である。

(b) F.R.P.ロケットの開発については三菱重工(株)、石川島播磨重工業(株)および日産自動車(株)である。

(c) 誘導制御技術開発については石川島播磨重工業(株)、(株)日立製作所、三菱電機(株)等である。

(d) システムデザインについては、三菱電機(株)、および日本電気(株)である。

(e) 人工衛星の部品等の開発については、東京芝浦電気(株)、(株)日立製作所、日本電気(株)、三菱電機(株)等である。

(ハ) 昭和43年度の宇宙科学技術研究開発の委託先については、宇宙開発推進会議と十分連絡をとりながら決めて行きたい。

ロ 同じく宇宙開発推進本部管理部長から参考資料「プログラム・マネージメント・ネットワーク(凶表ノ-5)」について次のような補足説明があつた。

(イ) このシステムデザインでは、わが国の技術等の現状が考慮されているが、これはアメリカ側がまとめたものであるので、わが国で実際に実施するにあたっては、当然わが国として実行が可能な計画に修正する必要がある。したがって、今後十分に検討していきたい。

(ロ) N'ロケットについてはNロケットのシステムデザインの過程において検討する。

(ハ) Mロケットの打上げが遅れているが、Lロケット、Mロケットの製作等の技術をQロケットの開発に取り入れていくので、Mロケットの打上げの遅れによりQロケットの開発が直接的な影響を受けることはない。